### ■ SQLServerTask ユーザーズマニュアル

Microsoft 社製のデータベース SQL Server のデータベースを決められたスケジュールにしたがって、まるごとバックアップしたり、 SQL Server 間でコピーします。

## ■ 概要

インストールされたクライアント側 PC で動作し、SQL Server のデータベースを、定期的にまるごとバックアップしたり、コピーしま す。 バックアップの場合、 バックアップファイル (.bak) はクライアント側 PC に保存します。

■ 開発環境と動作対象 OS・動作対象 SQL Server

● 開発環境

Windows 7 Home Basic Microsoft Visual C# 2008, Microsoft Visual Basic 6.0+ServicePack6

動作対象 OS
 クライアント用 OS
 Windows XP Service Pack3
 Windows Vista
 Windows 7
 Windows 8
 Windows 8.1
 Windows 10

サーバー用 OS Windows Server 2003 Windows Server 2008 Windows Server 2012 Windows Server 2016

Windows Small Business Server 2003 Windows Small Business Server 2008 Windows Small Business Server 2011 Windows Small Business Server 2012 Windows Small Business Server 2016

動作対象 SQL Server
 SQL Server 7.0
 SQL Server 2000
 SQL Server 2005+Service Pack2
 SQL Server 2008
 SQL Server 2012
 SQL Server 2014
 SQL Server 2016

Microsoft SQL Server Desktop Engine (MSDE) Microsoft SQL Server 2000 Desktop Engine (MSDE 2000) SQL Server 2005 Express Edition SQL Server 2008 R2 Express SQL Server 2008 R2 Express SQL Server 2012 Express SQL Server 2014 Express SQL Server 2016 Express

必要環境
 .NET Framework 3.5
 Microsoft Windows Installer 3.1
 (Windows XP SP3 以降、Windows Server 2003 SP1 以降)

● 必要な権限 インストールと操作は、管理者権限のあるユーザーで行なってください。

- インストール
- 1 SQLServerTask.msi をダブルクリックします。



2 「次へ」ボタンをクリックします。



3 インストールするフォルダを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

🙀 SQLServer Task	_ 🗆 🗙
インストール フォルダの選択	
インストーラは次のフォルダへ SQLServerTask をインストールします。	
このフォルダにインストールするには[次へ]をクリックしてください。別の: ルするには、アドレスを入力するか[参照]をクリックしてください。	フォルダにインストー
フォルダ(圧):	
C¥Program Files¥SQLServerTask¥	参照( <u>R</u> )
	ディスク領域( <u>D</u> )
SQLServerTask を現在のユーザー用か、またはすべてのユーザー用にインス	トールします:
○ すべてのユーザー( <u>E</u> )	
○ このユーザーのみ(M)	
キャンセル < 戻る(B)	

4 「次へ」ボタンをクリックします。

🔂 SQLServerTask	_ 🗆 🗙
インストールの確認	
SQLServerTask をインストールする準備ができました。	
「次へ」をクリックしてインストールを開始してください。	
キャンセル く戻る(3) [	X <u>{</u> N}>

5 インストールが始まります。



6 終了したら「閉じる」ボタンをクリックします。



## ■起動する

「SQLServerTask」は、デスクトップに作られる SQLServerTask ショートカットをダブルクリックするか、



スタートメニューー「SQLServerTask」ー「SQLServerTask」から起動してください。

●メインウィンドウ

```
SQLServerTask が起動したときのウィンドウは次のようになっています。
```

 SQLServerT	ask					
ファイル(F)	カレンダー(C)	タスク(T)	電源(P) イ	ンターネット <del>時</del> 計	t(I)	
« <			平成29年2月			<b>&gt;</b> »
В	月	火	7K	木	金	±
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
平成 29年2月2	27日					

メインウィンドウにはカレンダーが月単位で表示されます。起動したときには、起動したときの月が表示され、起動した日に赤い 〇印が付いています。

ト時計(I)		
		<mark>e »</mark>
	金	±s'
	3	4
	10	11

ウィンドウ右端にある「>」ボタンをクリックするとカレンダーが翌月を表示します。

## ●「翌年へ」ボタン



ウィンドウ右端にある「>>」ボタンをクリックするとカレンダーが翌年(1年後)を表示します。



ウィンドウ左端にある「<」ボタンをクリックするとカレンダーが前月を表示します。

# ●「前年へ」ボタン



ウィンドウ左端にある「<<」ボタンをクリックするとカレンダーが前年(1年前)を表示します。

# ●指定月へ移動

カレンダーのバーの上で右クリックすると1月から12月までが一覧で表示されます。月をクリックすると指定した月に移動しま

す。



### ■タスクの作成

カレンダーの日付欄で右クリックするとメニューが表示されます。



「タスクの作成」のサブメニューの「1回のみ」「毎日」「毎週」「毎月」から選択することができ、それぞれでタスクの設定をすることができます。タスクの設定では、「バックアップ」「コピー」などのタスク、そのタスクを実行する時刻やそのほかの条件を指定することができます。

■タスクの設定 スケジュールの指定

スケジュールを指定します。

🛅 タスクの設定	×
タスク名 SQLServerTask	
1:開始日:平成 29/2/27,開始時刻: 15:19 👻	
繰り返しなし(1回のみ) ▼ 新規 削除	
スケジュール SQL Server	
時刻設定	
15:19 🖂 Now M->0	
+12h +1h +30m +5m	
-12h -1h -30m -5m	
1回のみタスクを実行	
実行日 平成 29年 2月27日 □▼	

## ●タスクの種類

「繰り返しなし(1回のみ)」「繰り返しあり(日単位)」「繰り返しあり(週単位)」「繰り返しあり(月単位)」からクリックして選びます。



●「時刻」欄では、タスクを実行する時刻を設定します。

「Now」 年月日と時刻を現在の年月日と時刻にします。

「+12H」 時刻を12時間進めます。

- 「+1H」 時刻を1時間進めます。
- 「+30m」 時刻を30分進めます。
- 「+5m」 時刻を5分進めます。
- 「-12H」 時刻を12時間戻します。
- 「-1H」 時刻を1時間戻します。
- 「-30m」 時刻を 30 分戻します。
- 「-5m」 時刻を5分戻します。
- 「M->0」 分の下1桁を0にします。(例 12分-->10分)
- 「M->00」分を00にします。(例 12分-->00分)

(時刻は「0:00」より前には戻せません。また「23:59」より後には進めません。ぐるぐる回りません。)

●「設定」ボタンと「適用」ボタン、「キャンセル」ボタン

「設定」ボタンをクリックするとタスクを設定してタスクの設定ダイアログボックスが終了します。 「適用」ボタンをクリックするとタスクを設定します。タスクの設定ダイアログボックスは終了しません。 「キャンセル」ボタンをクリックするとタスクを設定しないで、タスクの設定ダイアログボックスが終了します。

#### ●繰り返しなし(1回のみ)

タスクの設定	×
タスク名 SQLServerTask	
1:開始日:平成 29/2/27,開始時刻: 15:19	•
繰り返しなし(1回のみ) ▼ 新規 削除	]
スケジュール SQL Server	
時刻設定	
15:19 🖂 Now M->0	
+12h +1h +30m +5m	
-12h -1h -30m -5m	
1回のみタスクを実行	
は 実行日 平成 29年 2月27日 □▼	
1	

「1回のみ」を選択していた場合には、「1回のみタスクを実行」欄で日時を指定することができます。実行日欄の▼をクリックするとミニカレンダーが表示されます。

実行日	平成	29年 2	月27日	3		R	
	•		平成	29年	2月	ht	×
	B	月	火	水	木	金	±
	29	30	31	1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11

日付をクリックすると「実行日」として指定されます。

●繰り返しあり(日単位)
🔳 タスクの設定
タスク名 SQLServerTask
[1:設定日: 平成 29/2/27, 開始時刻: 15:19 間隔: 毎日. ▼
繰り返しあり(日単位) ▼ 新規 削除
人ケシュール SQL Server 時本が時代テ
15:19 Mow M->0 M->00
+12h +1h +30m +5m
-12h -1h -30m -5m
タスクのスケジュール(日単位)
間隔 1 全 日に10
設定 キャンセル 適用

「繰り返しあり(日単位)」を選択していた場合には、「タスクのスケジュール(日単位)」欄で実行する間隔を指定することができます。

●繰り返しあり(週単位)

_	_
画 タスクの設定	X
タスク名 SQLServerTask	
1.設定日:平成 29/2/27,開始時刻: 15:19 間隔: 毎週月,火 ▼	
繰り返しあり(週単位) ▼ 新規 削除	
スケジュール SQL Server	
時刻設定	n I
15:19 Now M->0 M->00	
+12h +1h +30m +5m	
-12h -1h -30m -5m	
■ 間隔 1 週に1回	
☑月 ☑火 ☑水 ☑木 ☑金	

「繰り返しあり(週単位)」を選択していた場合には、「タスクのスケジュール(週単位)」欄で実行する間隔を指定することができます。また実行する曜日を指定することができます。

●繰り返しあり(月単位)

📧 タスクの設定
タスク名 SQLServerTask
1:設定日:平成 29/2/27,開始時刻: 15:19 実行日: 毎月 27 ▼
繰り返しあり(月単位) ▼ 新規 削除
スケジュール SQL Server
時刻設定
15:19 Row M->0 M->00
+12h +1h +30m +5m
-12h -1h -30m -5m
タスクのスケジュール(月里位) ③ 実行日 27 ◆ 日
◎間隔 第1 ▼ 月曜日 ▼
実行する月の選択
設定 キャンセル 適用

「繰り返しあり(月単位)」を選択していた場合には、「タスクのスケジュール(月単位)」欄で実行する日あるいは実行する間隔を 指定することができます。実行する間隔では「第1」から「第4」および「最終」までから選択し、曜日を指定することができます。 「第1」から「最終」の中から選択

タスクのスケジュ	レール(月単位) 27 🔶 日	
<ul> <li>問稿</li> </ul>	第1 🔻	月曜日 👻
実行する月	第1 第2 第3 第4 最終	

「月曜日」から「日曜日」の中から選択



「実行する月の選択」ボタンをクリックすると次のダイアログボックスが表示されます。

🔳 実行する月の選	択 🗕 🗖 🗾
タスクを実行するド	月を選択してくだざい。
🔽 1月	🔽 7月
📝 2月	📝 8月
📝 3月	📝 9月
🔽 4月	📝 10月
📝 5月	📝 11月
🔽 6月	👿 12月
	キャンセル

実行する月をクリックして選択し、「OK」ボタンをクリックします。

■タスクの設定 SQL Server の指定

データベースをバックアップするか、コピーするかを指定し、SQL Server に関する情報を指定します。

●バックアップかコピーか

「データベースバックアップ」をチェックするとバックアップの設定になり、「データベースコピー」をチェックするとコピーの設定になります。

●バックアップの設定

タスク名       SQLServerTask         1該定日:平成 29/2/27,開始時刻: 15:19 実行日:毎月第 、         線の返しあり(月単位)       新規         アメジュール       SQL Server         ● データベースバックアップ       ・         アール、       第一日         第三・中へ       シーン         ジェール       SQL Server         ● データベースバックアップ       ・         アーパー       参照         アーパー       参照         アーパー       参照         スパンフード       ・         アータベース       ・         パスワード       ・         データベース       ・         パスワード       ・         アーカーパー       ・         アーカーバー       ・         アーガー名       ・         パスワード       ・         データベース       ・         ゲーズー(開) C¥       ・         ローカル(側 C¥       ・         2GB超のバックアップフィノルの扱い       ・         マレー       ・         アー       ・         ションクアップログリア・       ・         クリア       実行	□□ タスカの設定			
1設定日: 平成 29/2/27, 開始時刻: 15:19 実行日: 毎月第 ・         線の返しあり(月単位)       新規 削除         スケジュール SOL Server         ● データベースパックアップ         ● データベースパックアップ         サーバー         認証方法とアカウント         ● SOL Server認証         ● SOL Server認証         アーガー         アーガー         ● SOL Server認証         ● 大ー側 C¥         □ ーカル/射         C¥         ● SOL ● 付届のdvide exeをサーバニロピーして使う         ● FileSteamデータ型を利用(SOL Server2008/2012)         レ         クリア         東行	b7/h2 SOI ServerTeek			
「銀ひ達しあり(月単位)       新規       削除         スケジュール       SQL Server         ● データベースバックアップ       ・データベースコピー         データベースバックアップ       ・データベースコピー         データベースバックアップ       ・データベースコピー         データベースバックアップ       ・データベースコピー         ジョン       ・         ● データベースパックアップ       ・         リーバー       ・         認証方法とアカウント       ・         ● SQL Server認証       ● Windows認証         ユーザー名       ・         パスワード       ・         アーバー       ・         データベース       ・         パスワード       ・         アーバー       ・         データバース       ・         パスワード       ・         アーク・       ・         データバース       ・         ゲーズーー側       C¥         ローカル(削       ○¥         ● SQL       ●         ●       「日届のdivide exeをサーバニコピーして使う         ●       FileSteamデータ型を利用(SOL Server 2008/2012)         ●       ●         ●       ・         ●       ●         ●       ●         ●       ●         ●       ●         ●       ● <td>1.設定日, 巫武 90/9/97 開始時初に15:10 実行日, 毎日第二</td> <td></td>	1.設定日, 巫武 90/9/97 開始時初に15:10 実行日, 毎日第二			
新規     削除       スケジュール     SOL Server       ● データベースバックアップ     ・データベースコピー       データベースバックアップ     ・データベースコピー       データベースバックアップ     ・アータベースコピー       データベースパックアップ     ・アータベースコピー       ジロ Soll Server認証     ● Windows認証       ユーザー名     ・パスワード       パスワード     ・アータベース       データベース     ・アータベース       ド業フォルダ     ・アータベース       サーバー(開) C¥     ・安照       ローカル(割) C¥     ・安照       ローカル(割) C¥     ・安照       ローカル(ジックアップの(保存期間) 削除しない)     ・       2GB建のバックアップフィイルの扱い     ・       チンパーク     ・       データ型を利用(SOL Server2008/2012)     ・       レ     クリア     実行				
スケジュール       SQL Server         ● データベースバックアップ       データベースコピー         データベースバックアップ       サーバー         ● データベースバックアップ       サーバー         ● SQL Server認証       ● Windows認証         ユーザー名       パスワード         データベース       ●         パスワード       ●         データベース       ●         パスワード       ●         アクース       ●         パスワード       ●         アーカー(前)       C¥         ローカル(側       C¥         ローカル(側       C¥         2GB諸20パックアップファイルの扱い       ●         スし       ●         グリア       実行	繰り返しあり(月単位) ▼ 新規 削除			
<ul> <li>● データベースバックアップ</li> <li>● データベースコピー</li> <li>データベースバックアップ</li> <li>サーバー</li> <li>● SQL Server認証</li> <li>● Windows認証</li> <li>ユーザー名</li> <li>パスワード</li> <li>● SQL Server認証</li> <li>● Windows認証</li> <li>ユーザー名</li> <li>パスワード</li> <li>データベース</li> <li>作業フォルダ</li> <li>サーバー側</li> <li>C¥</li> <li>テスト</li> <li>ローカル/割</li> <li>C¥</li> <li>テスト</li> <li>ローカル/割</li> <li>C¥</li> <li>● 安照</li> <li>ローカル/割</li> <li>○ (日本のdivide exeをサーバニコピーして使う</li> <li>● FileSteamデータ型を利用(SQL Server2008/2012)</li> <li>□</li> <li></li></ul>	スケジュール SQL Server			
データベースバックアップ・         ● SQL Server認証         ● SQL Server認証         ● Windows認証         ユーザー名         パスワード         データベース         パスワード         データベース         パスワード         データベース         ウバー間         レーカルパリ         C¥         ローカルパックアップの(保存期間         削除しない         2GB違のバックアップファイルの扱い         ▲ なし         ● 付属のdivide exeをサーバにコピーして使う         ● FileSteamデータ型を利用(SOL Server 2008/2012)         レ         クリア         実行	◎ データベースバックアップ  ◎ データベースコピー			
サーバー       参照       ラスト         認証方法とアガウント       ③ SQL Server認証       ④ Windows認証         ユーザー名       //スワード         プークペース       データベース         データベース       (*菜フォルダー         サーバー(側)       C¥         ローカル(削)       C¥         2GB違の//シウアップの(保存期間)       削除しない         ● なし)       ④ 付属のdivide exeをサーバにコピーして使う         ● FileSteamデータ型を利用(SQL Server2008/2012)         ●       クリア         実行	データベースバックアップ			
認証方法とアカウント ● SQL Server認証 ● Windows認証 ユーザー名 パスワード データベース 作業フォルダ サーバー側 C¥ テスト ローカル/創 C¥ 参照 ローカル/創 C¥ 参照 ローカル/創 C¥ 参照 ローカル/創 C¥ 参照 ローカル/創 C¥ を照 ローカル/創 C¥ を明 の(x) の こ を を の(x) の の(x) の の	サーバー 参照 テスト			
● SQL Server認証   2 ーザー名   パスワード   データベース   (作業フォルダ    サーバー側   C¥   ローカル/別    C¥    ローカル/別    C¥   ローカル/別    C¥    日ーカル/別    C¥   日ーカル/別    C¥    日ーカル/別    C¥    日ーカル/別    C¥    日ーカル/別    C¥    日ーカル/別    C¥    日ーカル/別    C¥    日ーカル/別   C¥    日ーカル/別   C¥    日ーカル/別   C¥    日ーカル/別   C¥    日ーカル/別   C¥    日ーカル/別   C¥    日ーカル/別   C¥    日ーカル/別   C¥    日ーカル   DY   月   B    Dy   Dy   Dy    Dy   Dy    Dy   Dy    Dy    Dy    Dy   Dy     Dy     Dy     Dy     Dy    Dy     Dy     Dy     Dy     Dy     Dy     Dy     Dy    Dy     Dy     Dy     Dy      Dy     Dy     Dy     Dy     Dy      Dy     Dy     Dy     Dy     Dy     Dy     Dy     Dy      Dy     Dy </td <td>認証方法とアカウント</td> <td></td>	認証方法とアカウント			
ユーザー名       パスワード       データベース       作業フォルダ       サーバー側       C¥       ローカルパックアップの(保存期間)       創除しない       2GB違のパックアップファイルの扱い       ふむ       ● 付属のdivide exeをサーバにコピーして使う       ● FileSteamデータ型を利用(SQL Server 2008/2012)	● SQL Server記語正 ● Windows記語正			
パスワード         データベース         作業フォルダ         サーバー側       C¥         ローカルパックアップの(保存期間         創除しない         2GB建図のバックアップファイルの扱い         本む         ● 付属のdivide exeをサーバにコピーして使う         ● FileSteamデータ型を利用(SOL Server 2008/2012)         ▶         クリア         実行	ユーザー名			
データベース       作業フォルダ         サーバー(側) C¥       ラスト         ローカル(側) C¥       参照         ローカル(例) C¥       ● 付属のdivide exeをサーバにコピーして使う         ● FileSteamデータ型を利用(SOL Server2008/2012)       ↓         レ       グリア       実行         ●安定       キャッセクル       通用	パスワード			
作業フォルダ サーバー側 C¥ ローカル/割 C¥ のーカル/割 C¥ のーカル/割 C¥ のーカルバックアップの保存期間 削除しない のるおし ◎ 付属のdivide exeをサーバにコピーして使う ○ FileSteamデータ型を利用(SQL Server 2008/2012)	データベース			
サーバー側       C¥       テスト         ローカル/創       C¥       参照         ローカルバックアップの保存期間       削除しない          2GB違のバックアップファイルの扱い           ○ なし       ④       付属のdivide exeをサーバにコピーして使う         ● FileSteamデータ型を利用(SQL Server2008/2012)          シリア       実行	作業フォルダ			
<ul> <li>□ーカル(剤) C¥</li> <li>参照</li> <li>□ーカルバックアップの(保存期間) 削除しな()</li> <li>2GB違のバックアップファイルの扱()</li> <li>なし ④ 付属のdivide exeをサーバにコピーして使う</li> <li>FileSteamデータ型を利用(SOL Server 2008/2012)</li> </ul>	サーバー(削 C:¥ テスト			
□ ーカルバックアップの保存期間 削除しない 2GB超のバックアップファイルの扱い ○ なし ◎ 付届のdivide exeをサーバにコピーして使う ○ FileSteamデータ型を利用(SQL Server2008/2012) レ クリア 実行 ■ 客定 をおいたれ、 適用	ローカル側 C:¥ 参照			
<ul> <li>□ーカルバックアップの保存期間 削除しない</li> <li>2GB違のバックアップファイルの扱い</li> <li>ふなし ④ 付属のdivide.exeをサーバにコピーして使う</li> <li>● FileSteamデータ型を利用(SQL Server2008/2012)</li> <li>□</li> <li>□<td></td><td></td></li></ul>				
2GB超のバックアップファイルの扱い へなし ④ 付届のdivide.exeをサーバにコピーして使う ● FileSteamデータ型を利用(SQL Server2008/2012) レ りリア 実行	ローカルバックアップの保存期間 削除しない 🗸			
● AG ● (竹橋の)divide exをサーバニピーし(1g) ● FileSteamデータ型を利用(SOL Server 2008/2012) ↓ クリア 実行	2GB超のバックアップファイルの扱い			
	● /よし ● 1/1病(Jdivide.exeをサー/\(と」ビーして使う ● FileSteemデーク型を利用目(SOL Server2008/2012)			
	3			
クリア 実行 シンティー 実行 シンティー シンティー 第一日 一日 一				
	クリア 実行			
axie hrvciv vevil	設定 キャンセル 適用			

サーバー	SQL Server をコンピュータ名 (xxxx¥EXPRESS などのインスタンス名) で指定します。
「参照」ボタン	クリックすると、LAN内(同じサブネット内)のSQL Serverを検索して、表示します。 データベースバックアップ サーバー 認知すたけにアナウンは
	※証 方法と/カリント           2003SV             ◎ SQL Server認証           Windows認証             2-ザー名           MOUSEPC2¥MSSQLSERVER2008             パスワード           WIN7HOME-PC2¥SQLEXPRESS             データベース           WIN7HOME-PC2¥SQLSERVER2008             作業フォルダ           の             一           の             の           の             の           の             の           の             の           の               の               の               の               の               の               の               の               の               の               の             の           の             の           の
「テスト」ボタン	クリックすると指定した「サーバー名」に指定した認証方法とアカウントを使って、指定したデータ ベースに接続し、接続できるかどうかテストします。
	▼指定したサーバーが起動しているか確認してください。
	▼指定したアカウントが、指定したデータベースへ接続できる権限を与えられているか確認してください。

	× 対象のコンピュータによって拒否されたため、接続できませんでした。192.168.1.10.1433		
	▼指定したサーバーが Windows 認証で接続できるか確認してください。 ユーザー "はロヴィンできませんでした。このユーザーは SQL Server の信頼関係接続と関連付けられていません。		
	ワークグループ構成で Windows 認証を利用した場合、クライアント側のアカウント(ユーザ名と パスワード)と同じものがサーバー側で登録されている必要があります。		
	エーザー 'WIN2008SRV¥oohashi' はログインできませんでした。		
認証方法とアカウント	SQL Server への接続で利用する認証方法を指定します。「SQL Server 認証」の場合には「ユーザ ー名」と「パスワード」を入力します。		
データベース	バックアップ対象となるデータベース名を入力します。複数のデータベースを対象とするときは、 「db1,db2,db3」のように「,」(半角カンマ)でつなげます。		
「サーバー側」作業フォル ダ	<ul> <li>サーバー側でバックアップファイルを作るフォルダを指定します。デフォルトは「C:¥」になっています。</li> </ul>		
	バックアップでは、「BACKUP DATABASE」コマンドによって、SQL Server が稼働しているサ ーバー内でいったんバックアップファイルが作られます。		
「テスト」ボタン	指定した「サーバー側」フォルダに書き込みができるかどうかテストします。(先に「接続テスト」を 行なってください)		
「テスト」ボタン 「ローカル側」作業フォル ダ	指定した「サーバー側」フォルダに書き込みができるかどうかテストします。(先に「接続テスト」を 行なってください) SQL Server Task を実行しているコンピュータ側でバックアップファイルを保存するフォルダを指定 します。デフォルトは「C:¥」になっています。		

	フォルダーの参照       Image: Constraint of the system of the syst	
	▶ (雲) コントロール パネル 回 ごみ箱 ▶ ■ LongBar 新しいフォルダーの作成(N) OK キャンセル	
「ローカルバックアップの	バックアップファイルの保存期間を指定します。「削除しない」から「1日前まで」「1週間前まで」「2	
保存期間」	週間前まで」「3 週間前まで」「4 週間前まで」「1 か月前まで」「3 か月前まで」「1 年前まで」から選	
	ぶことができます。 □-カルバックアップの保存期間 □ローカルバックアップファイルの扱 □GB超のバックアップファイルの扱 □前まで □ なし ④ 付属のdivide.exe 2週間前まで 2週間前まで 1か月前まで 3か月前まで 1年前まで	
「2GB 超のバックアップフ	バックアップファイルが2GBを超える場合、とくに古いバージョンのSQL Server でどの方法でバッ	
ァイルの扱い」	クアップファイルを取得するかを指定します。	
	「なし」を選択すると、2GBを超えた場合はなにもしません。「付属の devide.exe をサーバーにコピ	
	ーして使う」を選択すると、附属する「devide.exe」をサーバに転送し、サーバ側で devide.exe を使	
	って 2GB 超のバックアップファイルをいったん分割し、ローカル側に転送したあとで、附属の	
	「joint.exe」を使って結合します。「FileStream データ型を利用(SQL Server 2008/2012)」を選択す	
	ると FileStream データ型を使用して転送します。 FileStream データ型は SQL Server 2008 以降で	
	しか利用できません。	
「クリア」ボタン	クリックするとダイアログボックス内の設定をすべて消去します。	
「実行」ボタン	クリックすると、設定してある情報で SQL Server のバックアップを実行します。	

●データベースコピーの設定

🔳 タスクの設定
タスク名 SQLServerTask
1:設定日: 平成 29/2/27,開始時刻: 15:19 実行日: 毎月第 👻
繰り返しあり(月単位)    新規 削除
スケジュール SQL Server
·
- <u>-</u>
コピー元サーバー 参照 テスト
記録近方法とアカウント
ユーザー名
パスワード
データベース
作業フォルダ C¥ テスト
□-カル作業フォルダ C:¥ 参昭
コピー先サーバー 参照 テスト
認証方法とアカウント の SOL Server認知証 の Windows認知証
<u> 1/2</u> р. к.
データベース
元の名前+年月日+時分秒 🗸
作業フォルダ C.¥ テスト
クリア実行
設定 キャンセル 適用

コピー元サーバー	SQL Server をコンピュータ名 (xxxx¥EXPRESS などのインスタンス名) で指定します。		
「参照」ボタン	クリックすると、LAN内(同じサブネット内)の SQL Server を検索して、表示します。 -データベースバックアップ サーバー 認証方法とアカウント ◎ SQL Server認証 2003SV 2-ザー名 パスワード データベース 作業フォルダ - 歴から 世史したい SQL Server を深く つねしいなする ト[ コピー 云井 - バー 1 開にる わされます		
「テスト」ボタン	クリックすると指定した「コピー元サーバー」に指定した認証方法とアカウントを使って、指定した データベースに接続し、接続できるかどうかテストします。 ▼指定したサーバーが起動しているか確認してください。 本 #総務の0470出にたが一定04間を過ぎて6正し(応答しなかったため、接続できませんでした。または接続務み0472ドルを通知に接続は失敗しました。1921681231433 ■ 下 生 生 生 生 したアカウントが、指定したデータベースへ接続できる権限を与えられているか確認してく		

	ださい。		
× 対象のコンピュータによって拒否されたため、接続できませんでした。192.168.1.10:1433			
	▼指定したサーバーが Windows 認証で接続できるか確認してください。 ユーザー "はロヴインできませんでした。このユーザーは SQL Server の信頼関係接続と関連付けられていません。		
	ワークグループ構成で Windows 認証を利用した場合、クライアント側のアカウント(ユーザ名と パスワード)と同じものがサーバー側で登録されている必要があります。		
	× ユーザー 'WIN2008SRV¥oohashi' はログインできませんでした。 OK		
認証方法とアカウント	SQL Serverへの接続で利用する認証方法を指定します。「SQL Server認証」の場合には「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。		
データベース	<ul> <li>コピー対象となるデータベース名を入力します。複数のデータベースを対象とするときは、</li> <li>「db1,db2,db3」のように「、」(半角カンマ)でつなげます。</li> </ul>		
作業フォルダ	コピー元サーバー側でバックアップファイルを作るフォルダを指定します。デフォルトは「C:¥」になっています。 コピーでは、「BACKUP DATABASE」コマンドによって、SQL Server が稼働しているサーバー 内でいったんバックアップファイルが作られます。		
「テスト」ボタン	指定した「作業フォルダ」に書き込みができるかどうかテストします。(先に「接続テスト」を行なって ください)		
ローカル作業フォルダ	SQL Server Task を実行しているコンピュータ側でバックアップファイルを保存するフォルダを指定 します。デフォルトは「C:¥」になっています。		
「参照」ボタン	「フォルダの参照」ダイアログボックスが表示されます。SQL Server Task を実行しているコンピュー タ内でバックアップファイルを保存するフォルダを指定してください。		

	T
	フォルダを指定してください。         マテスクトップ         マライブラリ         マローカルディスク(C:)         シニローカルディスク(C:)         シニローカルディスク(C:)         シニローカルディスク(C:)         シニローカルディスク(C:)         シニローカルディスク(C:)         シニローカルディスク(C:)         シニローカルディスク(C:)         シニローカルディスク(C:)         シニロールパネル         マニカ箱         エロロロレパネル         アニカ油         アンセレー
コピー先サーバー	SQL Server をコンピュータ名 (xxxx¥EXPRESS などのインスタンス名) で指定します。
「参照」ボタン	クリックすると、LAN内(同じサブネット内)の SQL Server を検索して、表示します。         データベースパックアップ         サーバー         (local)         認証方法とアカウント         ② SQL Server認証         ユーザー名         パスワード         WIN7HOME-PC2¥SQLSERVER2008         パスワード         WIN7HOME-PC2¥SQLSERVER2008         (r葉フォルダ         一覧から指定したい SQL Server を選んでクリックすると「コピー先サーバー」欄に入力されます。
「テスト」ボタン	クリックすると指定した「コピー先サーバー」に指定した認証方法とアカウントを使って、指定した データベースに接続し、接続できるかどうかテストします。 ▼指定したサーバーが起動しているか確認してください。 メ 撮読物の呼び出し先が一定の時間を過ぎても正しに落しなかったため、機能できませんでした。または提続意味ののホストが応答しなかったため、確立された機能は失敗しました。1921831231433
	▼指定したアカウントが、指定したデータベースへ接続できる権限を与えられているか確認してください。          メ         メ象のコンピュータによって拒否されたため、接続できませんでした。1921681.10.1433
	▼指定したサーバーが Windows 認証で接続できるか確認してください。 ユーザー "はロヴィンできませんでした。このユーザーは SQL Server の信頼関係接続と関連付けられていません。 OK
	ワークグループ構成で Windows 認証を利用した場合、クライアント側のアカウント(ユーザ名と パスワード)と同じものがサーバー側で登録されている必要があります。

認証方法とアカウント	<ul> <li>ユーザー "WIN2008SRV¥oohashi" はロヴィンできませんでした。</li> <li>OK</li> <li>SQL Server への接続で利用する認証方法を指定します。「SQL Server 認証」の場合には「ユーザ ー名」と「パスワード」を入力します。</li> </ul>	
データベース	コピー先のデータベース名を指定します。         データベース         rmkstationKanto         元の名前+年月日+時分秒         パロ名前+年月日+時分秒         パロ名前+年月日+時分秒         八力         八力+年月日+時分秒         次力         次力+年月日         次力         ブータベースの「元の名前」か、「元の名前」に年月日(時分秒)などを付けた名前にしたり、「別の名前」を入力」。その名前に年月日(時分秒)などを付けた名前にしたり、「別の名前」を入力」。その名前に年月日(時分秒)などを付けた名前にすることができます。	
作業フォルダ	コピー先サーバー側でバックアップファイルを転送するフォルダを指定します。デフォルトは 「C:¥」になっています。	
「テスト」ボタン	指定したコピー先サーバー側作業フォルダに書き込みができるかどうかテストします。(先に「接 続テスト」を行なってください)	
「クリア」ボタン	クリックするとダイアログボックス内の設定をすべて消去します。	
「実行」ボタン	クリックすると、設定してある情報で SQL Server のコピーを実行します。	

■カレンダーに表示されるアイコン

タスクを設定するとカレンダーにアイコンが表示されます。

	29		
*			
	5	8	6
	12		13

「1回のみ」のタスクを設定すると「1」と表示されたアイコンが左上に表示されます。 「毎日」のタスクを設定すると「D」と表示されたアイコンが右上に表示されます。 「毎週」のタスクを設定すると「W」と表示されたアイコンが左下に表示されます。 「毎月」のタスクを設定すると「M」と表示されたアイコンが右下に表示されます。



同じ種類のタスクが複数ある場合、アイコンは複数人のアイコンで表示されます。

#### ■タスクの修正と削除

すでにタスクが設定してある場合には、右クリックメニューに「タスクの修正」「タスクの削除」「タスクの一覧」があります。



「タスクの修正」にはサブメニューがあり、その日付が該当するタスクが表示されます。タスクを選ぶとタスクの設定ダイアログボ ックスが表示されます。



「タスクの削除」にもサブメニューがあり、その日付が該当するタスクが表示されます。タスクを選ぶとタスクが削除されます。

タスクの作成 タスクの修正	+ +	
タスクの削除	•	「SQLServerTask2」を削除 10
タズクの一覧		「SQLServerTask3」を削除
 		]]

「タスクの一覧」を選ぶと、その日付が該当するタスクが一覧で表示されます。





■タスクの一覧

タスクの一覧では、タスクの上で右クリックするとメニューが表示されます。

🔳 ୭スク	の一覧						x
ファイル	L(F)						
設定	タスク名 SQLServerTas	実行	りガー   一一  一  一  一	29/2/27, 開始8	寺刻: 17:11	間隔…	
0	SQLServerTas <sup>45</sup>	このタスクを削	中 平成 除	29/2/27, 開始8	寺刻: 17:11	間隔…	

「このタスクを修正」を選ぶとタスクの設定ダイアログボックスが表示されます。 「このタスクを削除」を選ぶとタスクが削除されます。

[注意]

一覧はトリガーごとに表示されますが、修正や削除はタスク単位で行なわれます。「タスクの削除」を実行した場合、同じタスク 名のものすべてが削除されます。また「タスクの修正」を実行した場合、タスクの設定ダイアログボックスが表示されますから、修 正するトリガーを選択して修正してください。

●タスクの一覧の終了

「ファイル」メニューから「終了」を選ぶか、Altキーを押しながらQキーを押すと、タスクの一覧ダイアログボックスが終了します。



■トリガーの追加と削除

1 つのタスクには、複数のトリガーを設定することができます。トリガーを追加するには「新規」ボタンをクリックします。現在設定 されているトリガーと同じ内容でトリガーが追加されますから、修正してください。

🔲 タスクの設定	×
タスク名 SQLServerTask	
1:開始日: 2029/02/05,開始時刻: 10:12 🗸 🗸	
繰り返しなし(1回のみ) ▼ 新規 削除	
スケジュール SQL Server	

複数のトリガーが設定されている場合には、プルダウンメニューから選択してください。

🔳 タスクの設定	×
タスク名 SQLServerTask	
2:開始日: 2029/02/05,開始時刻: 10:12 👻	
1: 開始日: 2029/02/05, 開始時刻: 10:12 2: 開始日: 2029/02/05, 開始時刻: 10:12	
スケジュール SQL Server	

トリガーを削除するには「削除」ボタンをクリックします。

🔳 ७२४	7の設定	×
タスク名	SQLServerTask	]
2.開始	日: 2029/02/05, 開始時刻: 10:12 🗸 🗸 🗸	]
繰り返し	なし(1回のみ) - 新規 削除	
スケジュ	-JI SQL Server	

1つのタスクにはかならず1つのトリガーを指定しなければなりません。またトリガーごとにタスクを割り当てることはできません。

# ■メニュー

メインウィンドウにはファイルメニュー、カレンダーメニュー、タスクメニュー、即実行メニューがあります。

# ●ファイルメニュー

「環境設定」を選ぶと環境設定ダイアログボックスが表示されます。

📧 SQLServerT	ask	
ファイル(F)	カレンダー(C)	タスク(T)
環境設定	Alt+S	
終了	Alt+Q 6	火
28	29	30
4	5	6

「タイムアウト値」は、秒単位で指定でき、0を指定すると無制限となりますが、データベースサーバーの動作を不安定にする可能性がありますから、0を指定することはできるだけ避けたほうがいいでしょう。

SQL Server Task は作業途中でさまざまなファイルを作成します。作業途中で作成されたファイルはすべて削除しますが、うまく 動作しないときなどに、作業ファイルを削除しないようにすることで、どのステップで障害が発生しているかをある程度調べるこ とができます。

# ▼環境設定ダイアログボックスの「バックアップ」タブ

バックアップでは、サーバ側でバックアップファイル(bak)を作成してからクライアント側に転送します。バックアップファイルの容量が大きい場合は、いったんファイルを分割し、分割したファイルを1つずつクライアントに転送し、クライアント側で分割されたファイルを結合します。分割には「devide.exe」を、結合には「joint.exe」を使います。

🔲 環境設定		
バックアップ コピー		
バックアップ後の動作		
▼ サーバ側のbakファイルを削除		
▼ サーバ側の分割ファイルを削除		
▼ サーバ側の作業用データベースを削除		
(FileStreamを利用するとき)		
タイムアウト値(0で無制限) 30 🚔		
設定 キャンセル		

サーバ側の bak ファイルを削除	バックアップでは、まず対象サーバ側でバックアップファイル
	(bak)を作成します。作業後、bak ファイルを削除するかどうか
	を指定します。
サーバ側の分割ファイルを削除	バックアップファイルの容量が大きいとき、分割してクライアン
	トに転送するようになっています。分割したファイルを削除す
	るかどうかを指定します。
サーバ側の作業用データベースを削除(FileStreamを利用す	FileStream を利用するとき、作業用データベースを作成しま
サーバ側の作業用データベースを削除(FileStreamを利用するとき)	FileStream を利用するとき、作業用データベースを作成しま すが、その作業用データベースを削除するかどうか指定しま
サーバ側の作業用データベースを削除(FileStreamを利用するとき)	FileStream を利用するとき、作業用データベースを作成しま すが、その作業用データベースを削除するかどうか指定しま す。
サーバ側の作業用データベースを削除(FileStreamを利用するとき) クライアント側の分割ファイルを削除	FileStream を利用するとき、作業用データベースを作成しま すが、その作業用データベースを削除するかどうか指定しま す。 バックアップファイルの容量が大きいとき、分割してクライアン
サーバ側の作業用データベースを削除(FileStreamを利用するとき) クライアント側の分割ファイルを削除	FileStream を利用するとき、作業用データベースを作成しま すが、その作業用データベースを削除するかどうか指定しま す。 バックアップファイルの容量が大きいとき、分割してクライアン トに転送しますが、転送後の分割したファイルを削除するかど

▼環境設定ダイアログボックスの「コピー」タブ

コピーでは、コピー元サーバ側でバックアップファイル(bak)を作成してからクライアント側に転送します。バックアップファイルの容量が大きい場合は、いったんファイルを分割し、分割したファイルを1つずつクライアントに転送します。転送が終わったら、1つずつコピー先のサーバにファイルを転送し、コピー先サーバ側で分割されたファイルを結合します。分割には「devide.exe」を、結合には「joint.exe」を使います。

🔲 環境設定
バックアップ コピー
コピー後の動作
📝 コピー元サーバ側のbakファイルを削除
▼ コピー元サーバ側の分割ファイルを削除
▼ クライアント(側の分割ファイルを削除
☑ コピー先サーバ側のbakファイルを削除
☑ コピー先サーバ側の分割ファイルを削除
☑ コピー元/先が同じ場合はサーバ内で処理
タイムアウト値(0で無制限) 30 😓
設定 キャンセル

コピー元サーバ側の bak ファイルを削除	コピーでは、まずコピー元サーバ側でバックアップファイル
	(bak)を作成します。作業後、bak ファイルを削除するかどうか
	を指定します。
コピー元サーバ側の分割ファイルを削除	バックアップファイルの容量が大きいとき、分割してクライアン
	トに転送するようになっています。コピー先サーバ側の分割フ
	ァイルを削除するかどうかを指定します。
クライアント側の分割ファイルを削除	バックアップファイルの容量が大きいとき、分割してクライアン
	トに転送しますが、クライアント側の分割ファイルを削除するか
	どうかを指定します。
コピー先サーバ側の bak ファイルを削除	コピー先サーバに転送された bak ファイルを削除するかどうか
	を指定します。
コピー先サーバ側の分割ファイルを削除	バックアップファイルの容量が大きいとき、分割してクライアン
	トに転送し、それをさらにコピー先サーバに転送します。コピ
	ー先に転送した分割ファイルを削除するかどうかを指定しま
	す。
コピー元/先が同じ場合はサーバ内で処理	コピー元とコピー先が同じ場合に、クライアントを経由しない
	で動作するようにします。

ファイルメニューの「終了」を選ぶと SQL Server Task を終了します。Alt キーを押しながら Q キーを押しても終了します。

🔟 SQLServerTask				
ファイル(F) カレンダー(C)	) タスク(T)			
環境設定 Alt+S				
終了 Alt+Q	火			
28 29	30			
4 5	6			



「今月」を選ぶとカレンダーの月が現在の月に移動します。Altキーを押しながらMキーを押しても同様です。 「翌月」を選ぶとカレンダーの月が次の月に移動します。PageUpキーを押しても同様です。 「前月」を選ぶとカレンダーの月が前の月に移動します。PageDownキーを押しても同様です。 「翌年」を選ぶとカレンダーの月が1年後に移動します。Altキーを押しながらNキーを押しても同様です。 「前年」を選ぶとカレンダーの月が1年前に移動します。Altキーを押しながらPキーを押しても同様です。

●タスクメニュー

ask					
カレンダー(C)	タスク(T)	電源(P)	インターネ	ש א ש	寺計(I)
	タスクの	)作成 )修正	Alt+A		
<u>月</u>	タスクロ	)削除			<u>k</u>
	タスクを	すべて削	除 Alt+D		13
29	タスクク	)一覧	Alt+L		Ī

「タスクの作成」を選ぶとタスクの設定ダイアログボックスが表示されます。Altキーを押しながらAキーを押しても同様です。 「タスクをすべて削除」を選ぶと設定されている SQL Server Task のタスクがすべて削除されます。Altキーを押しながらDキー を押しても同様です。

「タスクの一覧」を選ぶとタスクの一覧ダイアログボックスが表示され、設定されているすべての ShutDownTask のタスクが一覧 で表示されます。Altキーを押しながらLキーを押しても同様です。

「タスクの修正」と「タスクの削除」では、サブメニューに設定されているすべての SQL Server Task のタスクが一覧で表示されます。

/-(C)	タスク(T) 電源(P) インターネット	時計(I)
	タスクの作成 Alt+A	> »
1	ダスク0/ISE ►	<b> </b>
-	タスクの削除	「SQLServerTask」を削除
7	タスクをすべて削除 Alt+D	「SQLServerTask1」を削除
	タスクの一覧 Alt+L	
	ļ	
5		40 44

修正するあるいは削除するタスクを選択してください。

●電源メニュー



このメニューから選ぶと「シャットダウン」「再起動」「休止状態」「スタンバイ」「スリープ」が、すぐに実行します。 (電源メニュー内の項目には、誤ったキー操作を避けるため、キーボードショートカットは用意してありません。)

サーバーを急に停止・再起動しなければならないときに、Windowsを通常の操作でシャットダウン・再起動しようとすると、

1 更新があった場合には「更新をインストールしてシャットダウン」が選ばれているため(デフォルト)、「シャットダウン」あるいは 「再起動」を選ばなければならない。

2 「コンピュータをシャットダウンする理由」で、「ハードウェアメンテナンス(計画済)」などオプションで理由を選ばなければ「OK」ボタンがクリックできない。

という問題があります。急な停電などでシャットダウンしなければならないとき、「更新をインストールしてシャットダウン」のままシャットダウンすると、更新が始まってしまい、UPSからの電源供給が間に合わない場合もあります。

このメニューから実行すると、そういった操作が不要になり、すみやかにシャットダウンすることができます。

▼シャットダウン

Windows Update の更新があっても更新しないで、アプリケーションはそれぞれ強制的に終了して Windows をシャットダウンします。

Windows Server 2003/Windows Server 2008 でシャットダウンする場合、その理由を入力するようになっていますが、入力することなくシャットダウンします。

#### ▼再起動

Windows Update の更新があっても更新しないで、アプリケーションはそれぞれ強制的に終了して Windows をシャットダウンし てから起動します(再起動)。

Windows Server 2003/Windows Server 2008 でシャットダウンする場合、その理由を入力するようになっていますが、入力することなくシャットダウンします。

▼休止状態
休止状態にします

▼スタンバイ スタンバイ状態にします

▼スリープ
スリープ状態にします

●インターネット時計メニュー



指定した NTP サーバーに接続して、操作しているパソコンの時計を合わせます。

■アンインストール

コントロールパネルの「プログラムと機能」(Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2008 の場合)からアンインストールして ください。

SQL Server Taskをアンインストールしても、設定したタスクは削除されません。SQL Server Taskの「タスクをすべて削除」を実行してからアンインストールしてください。

■その他

●実行する場合は

実行する場合には、あらかじめじゅうぶんなテストを行なってください。

本ソフトウェアの利用に関して不具合などが発生しても補償はできません。

●タスクスケジューラについて

SQL Server Task では Windows のタスクスケジューラ機能を利用しています。タスクスケジューラは、Windows XP ではコントロ ールパネルータスクから、Windows Vista ではコントロールパネルー管理ツールータスクスケジューラから、Windows 7 ではコン トロールパネル – システムとセキュリティ – タスクのスケジュールから設定します。

Windows 7 のコントロールパネルから「システムとセキュリティ」をクリックする。



「タスクのスケジュール」をクリックする。



タスクスケジューラライブラリの名前欄が「SQL Server Task」で始まるものが SQLServerTask が設定したタスクです。



タスクの「全般」タブ

SQLServerTask	< のプロパティ (ローカル コンピューター)
全般 トリガー 打	衆作 │ 条件 │ 設定 │ 履歴 (無効)
名前(M):	SQLServerTask
場所:	¥
作成者:	oohashi
[捝印月(D):	SQLServerTask仍設定
-セキュリティ オプシ	
タスクの実行時に	使うユーザーアカウンド
STSTEM	ユーザーまたはクループの変更(0)
	ブオンしているときのみ実行する(R)
◎ ユーザーがロク	ジオンしているかどうかにかかわらず実行する(W)
パスワードを	:保存しない (P)タスクがアクセスできるのはローカル コンピューター リソースのみ
■ 最上位の特権	権で実行する(I)
🔲 表示しない(E)	構成(C): Windows Server™ 2003、Windows® XP、または Windows® ▼

タスクの「トリガー」タブ

• SQLServerTask	のプロパティ (ローカル コンピューター	) 💌
全般「リガー」操	作 条件 設定 履歴(無効)	
タスクの作成時に、タ	スクのトリガー条件を指定できます。	
トリガー	詳細	*
指定日時	2017/03/06 10:53 (起動	有
•		•
新規(N) 編	集(E) 削除(D)	
		OK ++>>セル

トリガータブではトリガーをダブルクリックするか、選択してから「編集」ボタンをクリックすると「トリガーの編集」ダイアログボックスが表示される。

一時的に無効にする場合には「有効」のチェックボックスを外してから「OK」ボタンをクリックします。

トリガーの編集
タスクの開始(G): スケジュールに従う
<ul> <li>● 1 回(N)</li> <li>● 毎日(D)</li> <li>● 毎週(W)</li> <li>● 毎月(M)</li> </ul>
詳細設定
□ 遅延時間を指定する (ランダム)(K): 1時間
□ 繰り返し間隔(P): 1時間 ▼ 総続時間(F): 1日間 ▼
□ 繰り返し継続時間の最後に実行中のすべてのタスクを停止する(!)
□ 停止するまでの時間(L): 3日間
□ 有効期限(X): 2018/03/06 → 19:03:54 🚔 □ タイムゾーンにまたがって同期(E)
☑ 有効(B)

タスクの「操作」タブ

) SQLServerTask のプI	ロパティ (ローカル コンピューター)	×
全般 トリガー 操作	条件 設定 履歴(無効)	
タスクを作成する場合、タ	スクの開始時に発生する操作を指定する必要があります。	
操作	言羊糸田	
プログラムの開始	C:¥Users¥oohashi¥Desktop¥SQLServerTask¥SQLServerTask¥I	
		n
		ñ I
		- I
【新現(N) 編集(E).	」(自19年(D)	
		1セル

タスクの「条件」タブ

④ SQLServerTask のプロパティ (ローカル コンピューター)	×
全般 トリガー 操作 条件 設定 履歴(無効)	
トリガーに加えて、タスクを実行するかどうかを決定する条件を指定して てはまらない場合、タスクは実行されません。 アイドル	ください。指定した条件に 1 つでもあ
□ 次の間アイドル状態の場合のみタスクを開始する(C):	10 分間 🔍
アイドル状態になるのを待機する時間(A):	1時間 💂
<ul> <li>コンピューターがアイドル状態でなくなった場合は停止する(E)</li> <li>再びアイドル状態になったら再開する(U)</li> </ul>	
■ 電源	ର(P)
<ul> <li>コンピューターの電源をバッテリに切り替える場合は停止する(B)</li> <li>タスクを実行するためにスリーブを解除する(Z)</li> </ul>	
ネットワーク □ 次のネットワーク接続が使用可能な場合のみタスクを開始する(Y)	k:
任意の接続	•
	2K キャンセル

# タスクの「設定」タブ

🕒 SQLServerTask のプロパティ (ローカル コンピューター)	
全般 トリガー 操作 条件 設定 履歴(無効)	
タスクの動作に影響する追加設定を指定してください。	
✓ タスクを要求時に実行する(L)	
📃 🔲 スケジュールされた時刻にタスクを開始できなかった場合、すぐにと	タスクを実行する(S)
タスクが失敗した場合の再起動の間隔(T):	1分間 👻
再起動試行の最大数(R):	3
✓ タスクを停止するまでの時間(K):	3日間 -
要求時に実行中のタスクが終了しない場合、タスクを強制的に行	亭止する(F):
📃 タスクの再実行がスケジュールされていない場合に削除されるまで	での時間(D): 30日間 -

タスクの「履歴」タブ

正常に動作しない場合、ここに記録されたログを調べると解決のヒントが見つかるかもしれません。

④ SQLServerTask のプロパティ (ローカル コンピューター)	×
全般 トリガー 操作 条件 設定 履歴(無効)	
レベル 日付と イベ タスクのカテ オペコード 相関 ID	
×	-
全般 詳細	
A	
1 11	
 OK キャンセル	

「履歴」が無効になっていた場合には、右側の操作で「すべてのタスク履歴を有効にする」をクリックすると有効にすることができます。



■FileStream 機能について

SQL Server 2008/2012 から FileStream 機能が追加されました。FileStream 機能を利用することで、SQL Server 内に作られた 2GB 超のバックアップファイルを、SQL Server 内のデータベースに(分割することなく)まるごと格納して、クライアント側に転送 することができます。

FileStream 機能を利用するには、SQL Server の SQL Server 構成マネージャ(SQL Server Configuration Manager)で、「SQL Server のサービス」-「SQL Server」をダブルクリックするか、右クリックメニューのプロパティをクリックします。

Sql Server Configuration Manager							_ 🗆 ×
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)							
🗇 🔿 🞽 🗐 🗟 🚺 🕥 🔍 🥑	)						
🕵 SQL Server 構成マネージャー (ローカル)	名前	状態	開始モード	( ログオン	プロセス ID	サービスの種類	
, SQL Server のサービス	SQL Server (MSSQLSERVER)	実行中	自動	NT AUTHORITY¥NETWORKSERVICE	1560	SQL Server	
🛛 🗉 🧕 SQL Server ネットワークの構成	SQL Server Browser	実行中	自動	NT AUTHORITY¥LOCALSERVICE	1856	SQL Browser	
⊞ ـ Bul Native Client 110 の構成	SOL Server エージェント (MSSQLSt 時間(た) 時間(た) 再起動(T) フロパティ(R) ヘルプ(H)	実行中	自動	NT AUTHORITY#NETWORKSERVICE	1396	SQL Agent	
選択した項目のプロパティ ダイアログ ボックスを開きます	t.						

プロパティ画面で「FileStream」タブの「Transact-SQL アクセスに対して FILESTREAM を有効にする」「ファイル I/O に対して FILESTREAM を有効にする」「リモートクライアントに FILESTREAM データへのアクセスを許可する」の 3 か所をチェックします。

SQL Server (MSSQLSERVER)のプロパティ ?	×
AlwaysOn 高可用性   起動時のパラメーター   詳細設定 ログオン   サービス FILESTREAM	
▼ Transact-SQL アクセスに対して FILESTREAM を有効にする(E)	
▶ ファイル I/O アクセスに対して FILESTREAM を有効にする(F)	
Windows 共有名(W): MSSQLSERVER	
☑ リモート クライアントに FILESTREAM データへのアクセスを許可する(R)	
OK キャンセル 適用(A) ヘルプ	

注意

・SQL Server 2008 (Enterprise) で、バックアップファイルが 4GB 超になった場合、4GB を超えた分しか FileStream 機能で取り 込まれず、その結果、4GB を超えた分しかクライアントに保存されない現象を確認しています。